



2026年3月18日(水)

埼玉会館 小ホール(JR浦和駅・徒歩6分)



ホームページ



LINE公式

百年後のあなたへ



キャリー
マリガン

ヘレナ・ボナム＝
カーター

ブレンダン
グリーソン

アンヌ＝
マリー・ダフ

and

メルル
ストリープ

未来を花束にして

《SUFFRAGETTE》

監督：サラ・ガヴロン 脚本：アビ・モーガン「マーガレット・サッチャー 鉄の女の涙」

出演：キャリー・マリガン「華麗なるギャツビー」、ヘレナ・ボナム＝カーター「アリス・イン・ワンダーランド」、ベン・ウィショー「007 スペクター」、メルル・ストリープ「マーガレット・サッチャー 鉄の女の涙」

2015年 / イギリス / 英語 / 1時間46分 / シネマスコop / カラー / 音声5.1ch / 原題：SUFFRAGETTE / 日本語字幕：寺尾次郎

提供：KADOKAWA、ロングライド 配給：ロングライド 後援：アソシエーション・カウンスル

PATHE, PHM4 and BFI present in association with INGENIOUS MEDIA With the participation of CANAL+ and GINÉ. A RUBY FILMS Production
CASTING BY FIONA WEIR. HAIR & MAKEUP DESIGNER: SIAN GRIGG. COSTUME DESIGNER: JANE PETTIE. PRODUCTION DESIGNER: SUEC NORRINGTON. MUSIC BY ALEXANDRE DESPLAT. EDITOR HARVEY PILLING.
DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY: EDU GRAU. CO-PRODUCERS ANDY STERLING, HANNAH FARRILL. EXECUTIVE PRODUCERS CAMERON MCCRACKEN, TESSA ROSS, ROSE GARNETT, NIK BOWER, JAMES SCHAMUS, TISHA MOND.
PRODUCED BY FAYE WARD and ALISON OWEN. WRITTEN BY ABI MORGAN. DIRECTED BY SARAH GAVRON.
© PATHE PRODUCTIONS LIMITED, CHANNEL FOUR TELEVISION CORPORATION and THE BRITISH FILM INSTITUTE 2015. ALL RIGHTS RESERVED.



思想も教養も富もない、私はひとりの母親。ただ我が子のその手に、希望をつなぎたかった。
これは、女性の参政権を求めて立ち上がった“名もなき花”の、真実に基づく物語。

mirai-hanataba.com

“すべての娘たちはこの歴史を知るべきであり、
すべての息子たちはこの歴史を胸に刻むべきである。”

メリル・ストリープ (女優)

間違いなく今年最高の1本。
スリリングで胸を打つ、
骨太な作品。
—Daily Mail

性別を問わず誰もが
観るべき、重要な物語。
—Glamour

ひとりの平凡な母親が
参政権運動の中に見出したもの——
それは未来への“希望”
“だった”



運命も世界をも自らの手で変えてゆく—— これは、真実に基づいた、勇気ある女性の物語。

女性には投票権も親権さえ認められていなかった1912年のイギリス。ロンドンでは女性による参政権運動が先鋭化していた。原題の「Suffragette」とは、女性参政権論者(Suffragist)の中でも過激な活動家を示す。そのカリスマ的リーダーであるエメリン・パンクハーストは、平和的な抗議が黙殺される現状に“言葉よりも行動を”と呼びかけた。——実話を基にした本作は、階級の垣根なく結束し、権利を求めて立ち上がった女性たちを描き出す感動作だ。誰しもの心を揺さぶる、現代もこれからの百年も語り継がれるべき物語である。

主人公は、夫と息子の3人で慎ましく暮らす、洗濯工場勤めのモード。7歳から過酷な労働に従事している彼女にある時、生まれて初めての疑問が生じる。“別の生き方があるのではないか?”と。愛する我が子には自分とは異なる人生を歩んでほしい。その一心で声を上げ、やがて凛々しく変貌してゆくモードを若手演技派の筆頭キャリー・マリガンが演じている。実在の人物パンクハーストにはメリル・ストリープが扮し、圧倒的な存在感を放つ。



彼女たちの蒔いた種は、世紀を超えて、大輪の花となった。

本作の舞台からおよそ百年後の2016年。5月に台湾で初の女性総統が誕生し、8月には小池百合子東京都知事が就任。アメリカでは女性初の大統領を目指すヒラリー・クリントンが“ガラスの天井”を打ち破ろうとしている*。選挙権が18歳以上に引き下げられた日本では初の参院選が実施された通り、私たちが当たり前の権利として享受する“一票”は、世界中に存在したであろうモードのような“名もなき花”の勇気ある行動によってもたらされたと言える。緑=希望、白=清らかさ、紫=尊厳……シンボルカラーの花束を胸に凛として咲き誇った女性たち。その花束は今を生きる私たちすべてに受け継がれた、過去からのかけがえのない贈り物なのだ。 (*10月現在)

提供: KADOKAWA、ロングライド
配給: ロングライド 後援: プリティッシュ・カウンシル

未来を花束にして

—SUFFRAGETTE—



NPO法人埼玉映画ネットワーク 映画上映会 第363回彩の国シネマスタジオ

【日時】2026年3/18(水) ①10:30~12:25 ②14:30~16:25 ③18:30~20:25 ※上映時間 106分

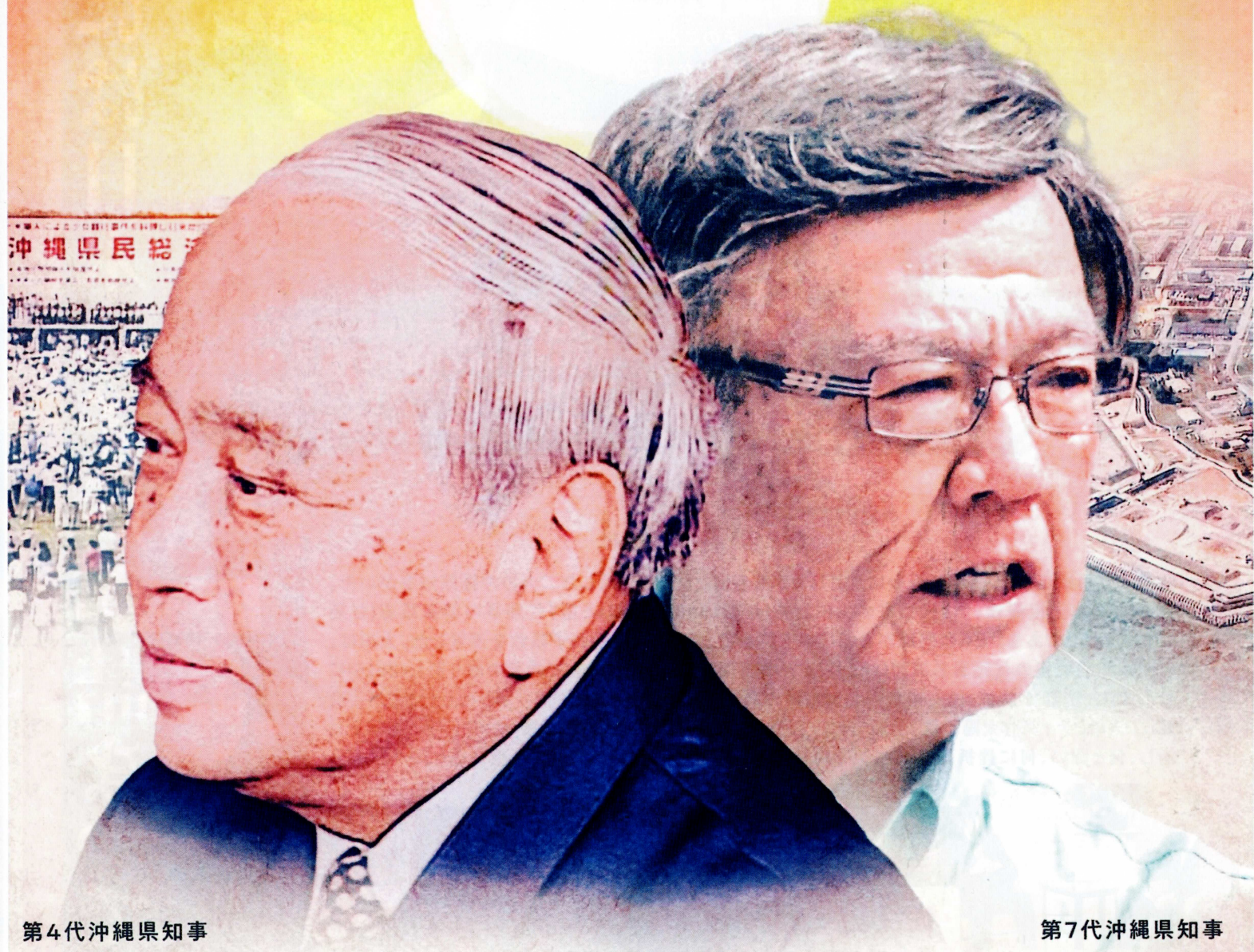
【会場】埼玉会館 小ホール(JR浦和駅・徒歩6分)

【料金】一般1100円 / 小中高生600円 / (当日券のみ) 9時30分より全ての上映回分を販売開始

【問合せ】048-762-9407(NPO法人埼玉映画ネットワーク)

主催 NPO法人埼玉映画ネットワーク 共催 (公財)埼玉県芸術文化振興財団

ティダ、それは太陽を意味し、
その昔「リーダー」を表す言葉だった



第4代沖縄県知事
1990~1998
大田 昌秀

第7代沖縄県知事
2014~2018
翁長 雄志

佐古忠彦 監督作品

ティダ 太陽の運命

琉球放送創立70周年記念作品

監督:佐古忠彦 撮影:福田安美 音声:町田英史 編集:庄子尚慶 語り:山根基世

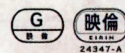
音楽:兼松衆 阿部玲子 澤田佳歩 佐久間奏 栗原真葉 三木 深 選曲・サウンドデザイン:御園雅也

音楽制作プロデューサー:水田大介 音響効果:田久保貴昭 プロデューサー:小濱 裕 嘉陽 順 嘉手納央揮 米田浩一郎 松田崇裕 津村有紀

テーマ曲:「艦砲ぬ喰えー残さー」作詞・作曲:比嘉恒敏 劇中歌歌唱:でいご娘 / エンディングテーマ演奏:辺土名直子

2025年/日本/日本語 カラー(一部モノクロ)ピスタ/5.1ch/129分

制作:琉球放送 TBSテレビ 配給:インターフィルム ©2025映画「太陽の運命」製作委員会



平和を追い求め、理不尽に抗い、信念に生きた二人の男——その熱き闘いの記録

大田昌秀 (1925~2017)

社会学者、沖縄戦研究者から革新統一候補となり、1990年知事に当選。95年9月、米兵による少女暴行事件が発生、直後から「日米地位協定」の見直しを訴えた。翌月、沖縄県民総決起大会に参加し、日米両政府に誠意ある対応を強く求めた。翌96年、橋本龍太郎首相から「普天間基地全面返還」の言葉を引き出す。県内移設が条件となっていたため実現せず、そのことが長い時をへて翁長が苦悩する「辺野古移設問題」の発端となった。



翁長雄志 (1950~2018)

保守の立場から大田県政を厳しく批判し、退陣に追い込んだ。四期務めた那覇市長時代に、民意を顧みず辺野古埋め立てを強行する安倍政権に異議を唱えてかつて所属した自民党と対峙。保革の対立を乗り越えることを目的とし、2014年、知事選に出馬して当選。大田の3代後の知事に就任した。革新勢力も含めたオール沖縄をバックに高い求心力を誇った。

おたまたさひで おながたけし 大田昌秀と翁長雄志…二人の知事が相剋の果てに たどり着いた境地、そしてこの国の現在地とは――。

政治的立場は正反対であり、互いに反目しながらも国と激しく対峙した二人の沖縄県知事がいた。1972年の本土復帰後、第4代知事の大田昌秀(任期1990~98年)と第7代知事の翁長雄志(任期2014~18年)である。ともに県民から幅広い支持を得、保革にとらわれず県政を運営した。大田は、軍用地強制使用の代理署名拒否(1995)、一方の翁長は、辺野古埋め立て承認の取り消し(2015)によって国と法廷で争い、民主主義や地方自治のあり方、この国の矛盾を浮き彫りにした。大田と翁長、二人の「ティダ」(太陽の意。遙か昔の沖縄で首長=リーダーを表した言葉)は、知事として何を目指し、何と闘い、何に挫折し、そして何を成したのか。そこから見えるこの国の現在地とは――。



佐古忠彦監督が沖縄現代史に切り込んだ、新たな野心作

沖縄戦後史を描いた『米軍が最も恐れた男 その名は、カメジロー』2部作(2017/19)、戦中史を描いた『生きろ 島田叡一戦中最後の沖縄県知事』(2021)に続く佐古忠彦監督最新作は、それぞれの信念に生きた二人の知事の不屈の闘いをたどり、その人間的な魅力にも光を当て、彼らの人生に関わった多くの人々の貴重な証言を交えて沖縄現代史に切り込んだ、全国民必見のドキュメンタリーだ。

太陽の運命

監督:佐古忠彦 語り:山根基世
2025年/日本/日本語 カラー(一部モノクロ)ビスタ/5.1ch/129分 制作:琉球放送 TBSテレビ
配給:インターフィルム ©2025映画「太陽の運命」製作委員会

映画「太陽(ティダ)の運命」(日本語字幕付) 上映会

沖縄には日本の矛盾が詰まっている

筑紫哲也

2026年
3月25日 | 水

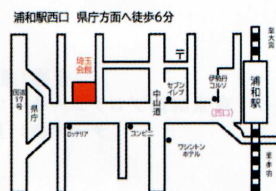
- ① 10:30-12:55
- ② 14:00-16:25
- ③ 18:30-20:40

埼玉会館小ホール

●各回30分前開場 ※先着入場(定員500席) 全席自由

※①、②の回は、佐古忠彦監督の舞台あいさつを予定しています。

参加費 電話割引・当日精算券持参 1,000円 (当日)一般1,200円 / 学生・障がい者・シニア[60歳以上] 1,000円 小中高生800円



主催・配給/お問合せ・電話割引受付 ▶ 埼玉映画文化協会 TEL048-822-7428 FAX048-824-3263 (電話受付:平日10:00~17:00)

文部科学省 選定
公益社団法人日本医師会 推薦
公益社団法人日本看護協会 推薦
公益社団法人認知症の人と家族の会 推薦

第 87 回キネマ旬報 日本映画ベスト・テン第 1 位
第 68 回毎日映画コンクール日本映画優秀賞
第 68 回毎日映画コンクール女優主演賞 赤木春恵
第 37 回山路ふみ子文化財団福祉賞 森崎東監督
第 6 回東京新聞映画賞

認知症の母

みつえと

バツイチ・

ハゲちゃびんの僕

愛おしくて、

ホロリ切ない

僕らの毎日



ペコロスの 母に会いに行く



ボケるとも
悪か事ばかりじゃ
なかかもしれない

主演 岩松了・赤木春恵 原田貴和子 加瀬亮 竹中直人 大和田健介 松本若菜 原田知世 宇崎竜童 森崎東 監督作品

温水洋一 徳積隆信 瀧谷天外 春風ひとみ 根岸季衣 長澤奈央 大門正明 佐々木すみ江 正司照枝 島かおり 今井ゆうぞう 長内美那子 志茂田景樹
原作:岡野雄一 主題歌:海遊 / 青筋 企画:井之原 寿 脚本:阿久根知照 プロデューサー:村岡克彦 音楽プロデューサー:大川正義 ラインプロデューサー:林みのる 撮影監督:浜田 毅 照明:高屋 寛 録音:本田 夜 美術:若松孝市
アニメーション:遊佐かずしげ 音楽:星 林 有 三 メインテーマ曲:豊田裕子 編集:徳崎 正 効果音:今井 勉 助監督:長川 栄二 監修:佐藤 雅道 制作プロダクション:若浪人 配給:東風 宣伝:ビーワー フラッグ
製作:ペコロスの母に会いに行く 製作委員会(若浪人 TCエンタテインメント フォーライフミュージックエンタテイメント 東風)

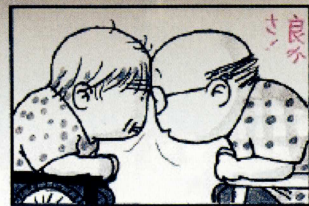
特別協賛:ソニー生命保険株式会社 協賛:株式会社ツクイ 医療法人寿栄会本間病院 本田技研工業株式会社 花王リリーフ ソラシドエア デイサービスさくら館 株式会社九州ガス

www.pecoross.jp

2013年11月 | ヴィスタ | 113分 | ©2013ペコロスの母に会いに行く製作委員会

facebook.com/Pekorossu

あの『ペコロスの母に会いに行く』が、 ついに映画化!



原作は、長崎在住の漫画家・岡野雄一のエッセイ漫画『ペコロスの母に会いに行く』。

深刻な社会問題として語られがちな介護や認知症。

でも、主人公のゆういちはこちらが言います。“ボケるとも、悪か事ばかりじゃなかかもしれん”。

そんな自身の体験をもとに描かれた認知症の母との何気ない日常が、多くの共感と感動を呼び、
現在16万部を超えるベストセラーに。

そして、ここにまったく新しい介護喜劇映画が誕生しました!



復活!! 喜劇映画の巨匠

森崎東監督、85歳

豪華キャストと日本映画の底力が集結

監督は『喜劇・女は度胸』『男はつらいよ フーテンの寅』など卓絶した人情喜劇で映画ファンを唸らせてきた森崎東。『ニワトリはハダシだ』以来、実に9年ぶりの最新作に益々盛んな映画への情熱をぶつけます。ときにペースを潰えながら、ユーモアたっぷりに主人公ゆういちを演じるのは岩松了。もうひとりの主人公みつえ役に赤木春恵。89歳にして映画初主演となる本作で実母の介護経験を活かした迫真の演技を披露。若き日のみつえに原田貴和子、夫のさとるに森崎監督の薫陶を受けた加瀬亮。さらに、原田知世、竹中直人、宇崎竜童、温水洋一など豪華キャストが集結!!

森崎東監督の復活作に集まったのは、俳優たちだけではありません。撮影監督に、森崎作品『生きていうちが花なのよ死んだらそれまでよ覚宣言』でカメラマンとしてデビューし、アカデミー賞®外国語映画賞を受賞した『おくりびと』の浜田毅。音楽プロデューサーに『千と千尋の神隠し』の大川正義と日本映画界を代表する実力派スタッフが集まりました。そして、作品に感動したという歌手の一青窈が主題歌『復道』を書き下ろしました。

「ペコロスの母に会いに行く」書籍発売中
岡野雄一著／西日本新聞社／1,260円(税込)

笑いと愛を
おとどけします。

なにかと不安も
おありでしょうが、
だいじょうぶ。



映画「ペコロスの母に会いに行く」上映会

2026年

4月23日 木

①10:30-12:30
②14:00-16:00
③18:30-20:30

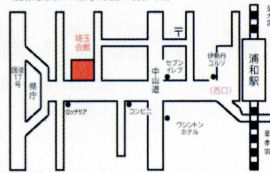
埼玉会館小ホール

●各回30分前開場 ※先着入場(定員500席) 全席自由

参加費 電話割引・当日精算券持参 1,000円

(当日)一般1,200円 / 学生・障がい者・シニア[60歳以上] 1,000円
小中高生800円

浦和駅西口 県庁方面へ徒歩6分



主催・配給／お問合せ・電話割引受付 ▶ 埼玉映画文化協会 TEL048-822-7428 FAX048-824-3263 (電話受付:平日10:00~17:00)

仲代達矢
徳永えり

大滝秀治

菅井きん

小林薫

田中裕子

淡島千景

柄本明

美保純

戸田菜穂

香川照之

(出演順)

小林政広監督作品

春

と

の

旅

生きる道、
きっとある。

haru-tabi.com

厚生労働省社会保障審議会推薦 文部科学省選定(成人向・青年向)



北海道から東北・宮城へ——
疎遠になった家族を巡る、旅のゆくえ。

ある日、突然——ひとりの老人が家を捨てた。
孫娘、春があとを追った…。

旅の始まりは、かつてニシン漁に湧き、
今ではその面影すら留めない北海の寂れた海辺。

そのあばら家で、ある老漁師と孫娘は、ささやかな二人暮らしを続けていた。
老人の名は忠男、孫娘の名は春。

春は、地元の小学校で給食係として働いていたが、廃校となって失職。
切羽詰まって東京に働きに出ようと考えるが、

足の不自由な忠男を見捨てるわけにはいかない。
一方忠男も、将来のある若い春をいつまでも束縛するわけにもいかない。

そこで二人は、忠男の老いの身の世話を頼むべく、
疎遠となった姉兄弟を訪ねる旅に出ることにした。

北海道の増毛から東北・宮城へ向かい、
気仙沼、鳴子、仙台を巡って親類縁者の元を訪れる。

しかし行く先々、それぞれの家庭の事情というものがあつた。
皆、忠男の世話とてではないのが本音だった。

そんな祖父・忠男と肉親たちの葛藤を目の当たりにした春は、
急に長く離別していた父親に会い、たくなり、

忠男と共に父の住む北海道・静内へ向かった…。
祖父と孫娘の二人旅、その行方はいかに——

原作・脚本・監督は、世界各国の国際映画祭で多くの受賞歴を持つ小林政広。
十年越しの企画が、日本映画を代表する名優たちを迎えて遂に実現した。

主演の仲代達矢は「約一五〇本の出演作中、五本の指に入る脚本」と
明言して渾身の演技で挑んだ。

孫娘・春には、若手演技派の徳永えり。
さらに、大滝秀治、菅井きん、小林薫、田中裕子、淡島千景、柄本明、美保純、

戸田菜穂、香川照之など豪華名優が競演。
順撮りオールロケーションの映像は限りなく美しく、

佐久間順平による、清冽繊細かつ雄大にして
優しさに満ちたテーマ曲が全篇を満たしている。

誰しもに訪れる人生の転機を捉え、
生きることの素晴らしさを

厳しくも優しさに満ちたまなざしでベースとなつぷりに描く、
今を生きるすべての人に贈る人生賛歌が誕生した。



人は人に
寄り添って生きていく。
良いときも、
悪い時も——。

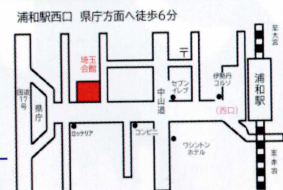


出演：仲代達矢、徳永えり、大滝秀治、菅井きん、小林薫、田中裕子、淡島千景、柄本明、美保純、戸田菜穂、香川照之 (主役)
原作・脚本・監督：小林政広 / エグゼクティブプロデューサー：興田尚志 / プロデューサー：稲野宗文、小林直子 / アソシエイトプロデューサー：岡田さくら、小林政広 / 制作担当：川淵津也 / アシスタントプロデューサー：萩原直人
音楽：佐久間順平 / 撮影監督：高岡賢治 (C) / 照明：上保正理 / 美術：山崎輝 / 録音：福田伸 / 編集：金子尚樹 / 助監督：石田和彦 / 音響効果：瀬谷真 / 装飾：鈴木隆之 / 衣装：宮本まさ江 / ヘアメイク：小沼みどり / 制作主任：細柳雅俊
企画：モンキータウンプロダクション / 製作：「春との旅」フィルムパートナーズ(ラテルナ、東映ビデオ、アスミック・エースエンタテインメント、毎日新聞社、札幌新聞社、札幌新聞社、北海道新聞社) / 制作：ラテルナ、モンキータウンプロダクション / 配給：テイク・ジョイ・ピクチャーズ、アスミック・エース 他
カラー / 134分 / ビスタサイズ / 35mm / ©2010「春との旅」フィルムパートナーズ/ラテルナ/モンキータウンプロダクション 助成：文化芸術振興費補助金 厚生労働省社会保障審議会推薦 文部科学省若者育成(成人向・青年向)

仲代達矢さん追悼・映画「春との旅」(日本語字幕付き) 上映会

2026年
5月26日 火
① 10:30-12:45
② 14:00-16:15
③ 18:30-20:45

埼玉会館小ホール
●各回30分前開場 ※先着入場 (定員500席) 全席自由



参加費 電話割引・当日精算券持参 **1,000円** (当日) 一般1,200円
学生・障がい者・シニア[60歳以上] 1,000円 小中高生800円

主催・配給／お問合せ・電話割引受付 ▶ 埼玉映画文化協会 TEL048-822-7428 FAX048-824-3263 (電話受付:平日10:00~17:00)